

平成 29 年度

素形材技術セミナー 「現場で役立つ！！ 鑄造現場での Q C」

ご 案 内

主催 : 一般財団法人 素形材センター
公益社団法人 日本鑄造工学会

現場技術改善の質を高めるため、品質管理の考え方を学び、Q C 的な問題解決の基礎とその手法を学ぶ！！

鑄造現場は数えきれないほど多くの変動要因の中で生産しており、原因の分からない不良に悩まされることが多いのではないのでしょうか。このような時私たちは鑄造技術（専門技術）を駆使して問題の解決を図ろうとします。しかし、これだけでは変化する要因をとらえて適切な対策を見出すことは出来ません。問題解決には専門技術と管理技術、すなわち統計的な手法が生きてきます。本セミナーでは、現場で活用できる Q C 的なものの見方・考え方、代表的な Q C 手法の演習を交えながら学びます。

また、これらの考え方を実践し、高い成果を上げている企業の改善事例発表を聞き、どのような活動をしているのか学びます。多数のご参加をお待ちしております。

●日時 平成30年1月22日（月）10：00～17：30

●場所 機械振興会館 地下3階 研修1号室 東京都港区芝公園 3-5-8
東京都港区芝公園 3-5-8（案内図参照）

●プログラム

鑄造品質良くすればコストが下がる！ ----- 10：00～10：40

鑄造品質は鑄造技術の総合力で決まる。その鑄物造りの諸課題の観える化には統計的手法である「Q C の基本的考えと Q C の 7 つ道具」を理解することが必須である。現場的实际例を交えてその手法を解説する。

小林技術士事務所 所長 小林 良紀

Q C 的なものの考え方について ----- 10：40～11：40

現場で起きる種々の問題解決にあたり、大切な考え方である「Q C 的なものの見方・考え方」を学び、この考え方を基本にして問題解決を図るための有効な手法である「Q C 的な問題解決法（Q C ストーリー）」の進め方を学ぶ。

元(公社)日本鑄造工学会 顧問 佐藤万企夫

鑄造現場で Q C 的に問題を解決するための各種手法 ----- 12：40～16：10

問題解決を進めるための Q C 手法には、Q C 7 つ道具、新 Q C 7 つ道具等のいろいろな手法があるが、これらがどのようなものなのか、どのような時、どのように使用するとよいのかを学ぶ。作成演習はパレート図、特性要因図を行い、その他よく使用する手法を中心に詳しく説明する。

ケイ・イマジン 代表 今里健一郎

鑄造現場での改善事例紹介と Q & A

実際の現場での改善事例発表を聞き、講師の指導のもと Q & A を行い、活動の進め方や、日頃の努力等について意見交換する。今回は下記の 2 社から事例の紹介をしてもらう。

鑄造現場での改善事例(1) 安全かつ効率の良い 製品取り出し作業への改善 ----- 16：20～16：40

(株)木村鑄造所 群馬工場 池田崇矩

鑄造現場での改善事例(2) バケットローダー 製品 2 度空け処理の撲滅 ----- 16：40～17：00

日産自動車(株) 栃木工場 第二製造部 一太郎サークル 栗原祐介

総合討論 ----- 17：00～17：30

※プログラムは都合により変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

●参加要領

◇定員 100名 (申込順に受け付け、定員になり次第締め切ります)

◇参加費(昼食代含む) 22,680円(税込)

素形材センター特別賛助会員、一般賛助会員及び日本鑄造工学会正会員・学生会員は、50%割引(11,340円)

※協賛会員の方へ：協賛会員の特典にセミナー・研修の割引はありません。ご理解をお願いいたします。

※開催前日(土日祝日除く)まで受講取消のご連絡がなく、当日欠席されても参加費はお返しいたしません。その場合テキストはお送りいたします。

◇申込方法

下記申込書に所要事項記入の上、FAXもしくはE-mailでお申込み下さい。

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館3階301
 一般財団法人 素形材センター 企画部 電話 03(3434)3907 FAX03(3434)3698
 ホームページ(<http://sokeizai.or.jp>)からのお申し込みもできます。

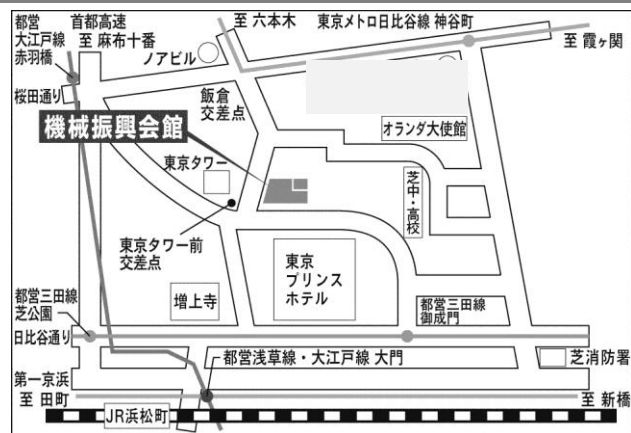
◇参加費のお支払い

参加申込後、参加証と請求書を郵送いたします。

(領収書を必要とする場合は、申込書にその旨をご記入下さい。振込手数料は、ご負担願います。)

◇申込締切 平成30年1月16日(火)

◇会場案内図



地下鉄：東京メトロ日比谷線神谷町駅下車(徒歩8分)、都営三田線御成門駅下車(徒歩10分)、都営大江戸線赤羽橋駅下車(徒歩10分)、都営浅草線大門駅下車(徒歩15分)
JR：浜松町駅下車(徒歩17分)
バス：浜松町～東京タワー路線東京タワー前下車

個人情報保護法に関する対応

ご記入頂いた個人情報は、本セミナーの事務に利用するとともに、参加者リストを作成し、講師に手交します。
 また、素形材センターの行う各種研修、セミナー、出版物、事業の案内状の送付に利用する予定です。今後、素形材センターが行う素形材産業の実情に関する調査アンケートへの協力依頼を行う場合もあります。

(※ 会場では、一切の録音、録画をお断りします。予めご了承下さい。)

----- 申 込 書 -----

素形材センター企画部 (FAX03-3434-3698) (E-mail kensyu@sokeizai.or.jp)

素形材技術セミナー「現場で役立つ！！鑄造現場でのQC」(30年1月22日)

会 社 名

所 在 地(〒)

電 話 FAX

連絡者名 所属 E-mail

- ア. 素形材センター特別賛助会員
- イ. 素形材センター一般賛助会員
- ウ. 日本鑄造工学会正会員
- エ. 日本鑄造工学会学生会員
- オ. 上記いずれも該当せず
(素形材センター協賛会員含む)
(該当に○印をつけて下さい)

受講者氏名	所属・役職

金額.....円也、上記のとおり受講いたしますので、申し込みます。 平成 年 月 日

*メールマガジン 購読希望 素形材センターメールマガジン購読をご希望の方はチェックを入れてください。
 定期的に、事業の最新情報、募集案内、イベント情報、その他、官庁関連情報、業界情報などを無料で配信しています。